

美術センター 久我記念館

8月企画展 5日(土)~31日(木)
(月曜休館・盆休み 13.14.15日・入館無料)

田原ウーコ イラスト展 『Sunnyday+Rain 2』

イラストレーター・田原ウーコのイラスト展
『Sunnyday+Rain2』を久我記念館で開催します。
生まれ育った須恵町で
慣れ親しんだ森の美術館で
真夏の1か月。
絵の具で描いたイラスト作品展です。
絵本のようなわくわく どきどき。*.*°☆
そんな気分を味わって頂けたらと思います。
森の美術館にぜひいらしてください☆



田原ウーコプロフィール

1979年 須恵町生まれ
2000年~福岡を中心に、個展・グループ展を開催。
2005年~イラストレーターとして独立。
企業の広告やキャラクター、雑誌などで活躍中。
今年、チェコでの小品展を開催。
また、出版社賞を受賞し、絵本の出版が決定。

田原ウーコの情報は、こちらでチェック！
→ <http://www.wooco.net/>



ウーコ展オープニングパーティー 絵本出版記念パーティー

8月6日(日) 14:00~17:00
久我記念館にて開催！
自家製杏子酒をご用意しております。
どなたでも、お気軽にいらしてください！！

7月の企画展 1日(土)~23日(日) 木村 如次さん・椎野 実さん 『能・狂言面』と『相貌』写真二人展



創立10周年時の航空写真
(学校周辺は格好の野外学習の場でした)



現在の須恵第二小学校

須恵第二小学校(山野芳朗校長・児童569人)は、来年1月で創立50周年を迎えます。

須恵第二小学校が創立50周年 来年1月27日に記念式典を実施 賛助金や記念誌購入の協力を呼びかけ



同校は昭和32年1月に開校。50年の歴史の中には幾多の変遷がありました。この50年、歴代の教職員の熱心な教育愛と地元の皆さんや同窓生の愛校心に支えられ、多くの人材を輩出しています。

開校以来の卒業生は5,842人を数えています。

地域とともに発展してきた同校の輝かしい伝統を回顧し、幾多の先輩諸氏、恩師の指導に感謝し、郷土に誇れる人材育成の場として、更なる発展をめざすことを趣旨に、来年1月27日(土)に記念式典を行うことにしています。

同事業推進にあたっては、平成16年度から現職PTA役員や役員OBらが中心となって、推進母体となる組織、「須恵第二小学校創立50周年記念事業実行委員会(合屋浩寿委員長以下69人)」を発足し、体制は、役員

会のほか4部会(事業・財務・式典・記念誌)や地域連絡員などを設け、それぞれの部会や連絡員が連携、協力して取り組みを進めているものです。

記念事業は、記念碑の建立や記念誌「メタセコイヤ」の発行、式典などを計画しており、財源確保が必要ことから財務部会では同事業の基金設立を行っており、募金の推進に当たっては、同組織の地域連絡員らが今年7月から卒業生や校区内のみなさんを中心に募金を呼びかけることにしています。

現在、財務部会が試算している目標額は、賛助金が200万円(2,000円×1,000口以上)、記念誌が150万円(1,500円×1,000部以上)です。

また、賛助金の支援や記念誌購入など詳しくは同校内の事務局までお尋ねください。
☎ 935・0251



梅雨はまだ明けません。今回は蛇の目傘を紹介しよう。蛇の目傘は、親骨の長さは約60cm以上で、骨数は50本以上。番傘にくらべて全体に細めに作られる。骨に彩色するほか、小骨にかり糸をかけ、柄に藤巻きをし、軒付に糸を巻いて丈夫にし、文様は染め紙を利用し、白地部分を残してさまざまな文様をつけ、漆塗りで仕上げる。もっぱら女性用とされてきた。」

(日本民族辞典)とあります。

蛇の目かどうかは分かりませんが、よく似た傘は、小生が小学生のころ、学校の帰りのときに雨が降りだし、一、二度借りたことがあります。

この傘は、さすときにはバリバリと音がして、油のようなおいがしました。また、大雨のときにこの傘をさすと、パラパラと大きな音がしたのを覚えています。

写真の蛇の目は、柄の部分にはプラスチックのつるが巻きつけてあります。大きさは長さが82cm、傘を開いたときの直径は103cmです。

歴史民俗資料館 昔の生活民具シリーズ...58

